

運営方針

第5次総合計画を着実に推進し、将来都市像である「人・自然・歴史・文化輝く ふれあいと創造のまち 河内長野」を実現するため、行政経営改革プランに基づく、安定した財政運営の構築をめざします。併せて公共施設などについても、持続可能な施設規模や有効活用について引き続き検討を進めます。

また、公の施設の指定管理者制度については、制度の適用そのものや実際の運用が適正であるかを継続的に検証するとともに、第三者による専門的な知見からの評価の実施など、チェック体制の強化や運用面の改善に取り組んでいきます。

一方、本年度に本格運用が開始される予定のマイナンバー制度については、国や他の自治体との情報連携が的確に行えるよう国等の指示に従い、確実に作業を進めます。

【重点施策とめざす方向】

財政調整基金に頼らない予算編成

厳しさを増す財政状況の中で、第5次総合計画の各施策を実施しながら、持続可能なまちづくりを進めていくため、事業の組換えを推進し、原則として財政調整基金を取り崩さずに平成30年度当初予算を編成する。

【実績】

目標どおり達成

3年に1度の固定資産税の評価替えなどに伴い、市税収入が減少する厳しい財政状況のなか、事業の組換えを推進するとともに、新たに包括予算制度を導入し、各部局の創意工夫のもと、原則として財政調整基金を取り崩さずに平成30年度予算を編成することができました。

公共施設再配置計画の策定に向けた取組

パブリックコメントなどにより市民の方々のご意見を頂きながら公共施設再配置計画の策定に向けて検討し、持続可能で新たなニーズに対応した公共施設づくりを進めます。

ほぼ目標どおり達成

学識経験を有する専門家と公募市民により構成された河内長野市公共施設再配置計画策定検討委員会において、慎重かつ丁寧な審議を経て、平成29年9月に河内長野市公共施設再配置計画策定についての答申を得ました。また、同答申を踏まえ、公共施設等の最小化・長寿命化・最適化を図るため、公共施設再配置計画（案）の作成に向けて取り組みました。

指定管理者制度の適正な運用

制度の適用が施設の設置目的の効果的、効率的な達成に繋がっているかを継続的に検証するとともに、改正したモニタリング指針に基づく外部の第三者による専門的な知見からの評価の実施など、チェック体制を強化します。これらにより、指定管理者の経営の健全性や施設の管理状況の的確な把握に努め、施設の効果的・効率的な運営につなげます。

目標どおり達成

所管課と指定管理者との連絡調整会議や契約検査課と所管課の連絡会議を開催しました。また、併せて、改正したモニタリング指針に基づき、新たな評価項目による月次評価や専門的知見を持った第三者による外部評価等を実施しました。これらにより、指定管理者の経営の健全性や施設の管理状況の的確な把握に努め、施設の効果的・効率的な運営につなげました。

### マイナンバー制度（情報連携）への対応

マイナンバー制度については、国や他の自治体との情報連携が、本年7月からの試運用を経て、10月から本格的に開始されます。国が示すスケジュールに沿って作業を進め、的確に情報連携を実施していきます。

### 目標どおり達成

マイナンバー制度にかかる国や他の自治体との情報連携について、平成29年7月から試運用を経て、不具合はなく同年11月より本格稼働しました。